



東海大学大学院 2020年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は、渡辺式家族アセスメントモデルを用いて分析していきます



事例紹介

20代女性。縊首の自殺未遂でERに救急搬送。救命され入院後10日でリハビリが行えるまで回復しHCUへ転出した。両親、姉妹らは憔悴しきって話しかけることも難しい。

また、本人には自殺の理由を聞いて欲しくないと家族が看護師に懇願してきた。COVID19拡大下で面会制限もあり、情報が得にくい状況の中、今後の生活行動域の拡大をめざした対応に看護師は困惑している。



プロフィール：櫻井大輔先生（家屋支援専門看護師）
国際医療福祉大学卒業後、神奈川県立足柄上病院に入職
東海大学大学院で家族看護学を専攻し、家族支援専門看護師を取得
2018年から東海大学医学部看護学科特任助教となり、各地で家族看護教育普及に努めている。

2020年9月19日 土曜日

13：00～16：00

COVID-19による感染症対策のため、初めてWEB研究会を開催します。
今回は定員25名とします。参加希望者は事前連絡をしてください。
Email:rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp 0463-90-2067（井上：直通）

<https://us02web.zoom.us/j/8105666826?pwd=c2F4K1V1VFRYMMm51RCs1LzdiUllQdz09>

ID: 810 5666 6826 パスコード: 706305



←zoom QRコード